



大 銀 杏

喜多市立慶徳小学校 学校だより
令和元年11月15日(金)第13号
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】心豊かで、主体性のある児童の育成 ～育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子～



子育て雑感 ～^{さんぶ}三分の「飢えと寒さ」～

「衣服をたくさん着せ、食べただけ食べさせれば病多し。
食を少なくすれば病少なし。およそ子育てに大事なものは、
三分の飢えと寒さである。」

少々古風な言い方ですが、貝原益軒という江戸時代の儒学者の書いた「和俗童子訓」という本にある一節です。

がまんする心やたくましさの不足した子どもが増えてきたと言われる昨今ですが、この「三分の飢えと寒さ」の教えを子育てに取り入れていくことが必要なのかもしれません。

この豊かな時代、与えるのに十分な余裕のある状況の中で、**あえてがまんさせたり、苦勞をさせたりすることが大切です。** その中で本当の意味での有難みや感謝の心が身に付き、心も体もともにたくましい子どもに育っていくような気がします。

食事や衣服だけの問題ではなく、子育てにおいては、「安心や信頼」を子どもたちに保障してあげることが何より大切ですが、同時に「がまんや苦勞」をさせることも大切であると考えます。セルフコントロールできずスマホ・ゲームに熱中していたり、理由なく登下校を車で送り迎えしてもらったりしている子どもなど、がまんや苦勞を避けた生活を送った子どもには、そのツケがいつかいろいろな形で来るような気がします。

学校の授業においても、与えすぎ、教えすぎによって、悩ませず、苦勞させない学習をさせることのないよう気をつけていきたいと思えます。

2学期も、授業日が残り26日間となりました。冬の到来感じさせる寒さもこれから本格的にやってきます。健康管理に留意しながら、学習・生活のまとめをしていきます。

収穫感謝祭を実施！



きのうは、農業科支援員さんをはじめ、日頃からいろいろな学習活動の中でお世話になっている皆様をお迎えして、収穫の恵みへの感謝とお世話になっている方々への感謝の気持ちを表すことをねらいに収穫感謝祭を実施しました。

縦割り班ごとに、収穫した食材を使ってカレーや漬物、デザートなどを、みんなで協力しながら作りました。

普段給食でお代わりをしない児童も、きのうはお代わりをするなど、各班ごと、お客様と歓談をしながら楽しい会食の時間を過ごしました。

(その様子は、本校ホームページにも掲載しています。)



「心のサポート」アドバイスシート ～「心の元気さ」「やさしさ」「イライラ度」調査～

文科省の「緊急スクールカウンセラー等派遣事業」の一環で、中京大学による「児童生徒の心の健康に関する調査」を9月に実施し、その結果(個人票)が届きました。「心の元気さ(抑うつ)」や「イライラ度(攻撃性)」に視点を当てた調査で、昨年度との比較(低学年除く)も出ています。来週から始まる個別面談の時にお渡しします。